

## ミニシンポジウム “ 《教師の研究力》を考える ”

教職を目指す学生や教職大学院院生・修了生等の現職教員の有志と一緒に、教師が現場で実践研究を行うことや教師が研究力を身につけることの意義と、教職大学院がそれをどうサポートするのかについて考えたいと思います。どなたでもご参加いただけます。奮ってご参加下さい。

日時：2024年3月30日（土） 13時00分～17時00分

会場：常葉大学（A201 講義室） 所在地： 静岡県静岡市駿河区弥生町 6-1

形態：ミニシンボ形式【基調講演 50 分 | パネルディスカッション 90 分 | グループ・フリートーク・セッション 60 分】

企画・運営：常葉大学教職大学院研究委員会企画（田代科研・越智科研・「教職詳説」刊行チーム合同プロジェクト）

テーマ：「教師の研究力 ―教職大学院で教師が育っていく時代に向けて―」

◇第Ⅰ部 基調講演：山崎準二教授（学習院大学）

「教師の成長における教師の研究の意義と教職大学院への期待」をテーマに

◇第Ⅱ部 パネルディスカッション 「《教師の研究》を問い直す」をテーマに

パネラー：油布佐和子教授（早稲田大学）、越智康詞教授（信州大学）、田代直幸教授（常葉大学） 司会：紅林伸幸（常葉大学）

◇第Ⅲ部 グループ・フリートーク・セッション「《教師の研究》をどう守るのか」

参加者が小グループに分かれてフリーディスカッション!!

※本シンポジウムの記録は後日報告書にまとめさせていただきます。

※ ご参加いただける方は、人数確認と当日の議論のため、下記の Google フォームにて申し込みをお願いいたします。（見込みで構いませんので早めをお願いいたします。）

<https://forms.gle/6meMKUFqTVyQYmxn9>

<https://forms.gle/27a2K9booQQc8wJ19>

学生・学校教員等  
はこちらから



大学教員・研究者  
はこちらから



問い合わせ先 紅林伸幸（ [kure@sz.tokoha-u.ac.jp](mailto:kure@sz.tokoha-u.ac.jp) ）